

## ごあいさつ



日頃から、町民の皆様には、町政運営に対しまして格段のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

我が国では、少子高齢化が一層進行し、地域経済・地域活力の低下や地域コミュニティの衰退等の問題が各地で深刻化しています。

また、国際化・情報化の進展や近年頻発・激甚化している自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による価値観やニーズの多様化など、行政の役割は今まで以上に重要なものとなっています。一方で、成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備などにより、10年、20年後の芝山町は大きな発展を遂げることが期待されます。

このような時代の変化に対応するまちづくりの指針として、このたび「第5次芝山町総合計画」を策定しました。

計画では、基本理念を「『次世代が誇れる芝山』創生への始動」とし、守り続けた風土や文化、産業を大切に継承しつつ、住む人が誇れる新しい芝山町を創生します。

また、計画の目指すまちづくりの将来像を「まち・子育て・仕事・暮らし 充実と希望が生まれる国際空港町(タウン)・芝山」とし、「ハード・ソフトの一体的な整備により持続可能な成長を実現するまち」、「仕事と子育てがしやすいワークライフバランスのとれたまち」、「町民との協働により芝山町の誇りと希望を未来につなぐまち」の3つをまちづくりの目標に掲げ取り組みます。

この計画では、施策ごとに「めざす姿」を掲げるとともに、その達成状況を客観的に判断する指標を設定しました。

計画の策定にあたりましては、町民の皆様から多くの貴重なご意見をいただくとともに、総合計画審議会での慎重なるご審議に対しても深く感謝申し上げます。

今後も町民の皆様や関係機関等との協働により、ともに新たな芝山町の創生を進めましょう。

令和3年3月

芝山町長 桐川 勝彦

# 目次

|                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| <b>【序論】</b> .....                | <b>1</b>  |
| <b>第1章 総合計画策定に当たって</b> .....     | <b>3</b>  |
| 1 策定の趣旨 .....                    | 3         |
| 2 計画の概要 .....                    | 4         |
| 3 主な個別計画等との関連性 .....             | 5         |
| <b>第2章 芝山町の概況</b> .....          | <b>6</b>  |
| 1 地勢 .....                       | 6         |
| 2 人口、世帯等 .....                   | 7         |
| 3 産業 .....                       | 8         |
| 4 土地利用、都市基盤等 .....               | 9         |
| 5 町に関連する計画等 .....                | 10        |
| 6 社会潮流の変化 .....                  | 11        |
| <b>第3章 町民の評価と意向</b> .....        | <b>13</b> |
| 1 町民アンケート結果 .....                | 13        |
| <b>第4章 まちづくりの課題と期待</b> .....     | <b>15</b> |
| <b>【基本構想】</b> .....              | <b>17</b> |
| <b>第1章 計画の全体像</b> .....          | <b>19</b> |
| <b>第2章 まちづくりの基本理念</b> .....      | <b>20</b> |
| <b>第3章 まちづくりの将来像と目標</b> .....    | <b>21</b> |
| 1 まちづくりの将来像 .....                | 21        |
| 2 まちづくりの目標 .....                 | 21        |
| <b>第4章 将来人口と土地利用</b> .....       | <b>22</b> |
| 1 将来人口 .....                     | 22        |
| 2 土地利用 .....                     | 23        |
| <b>第5章 施策の大綱</b> .....           | <b>25</b> |
| <b>【前期基本計画】</b> .....            | <b>29</b> |
| <b>第1章 重点施策</b> .....            | <b>31</b> |
| 1 重点施策の背景 .....                  | 32        |
| 2 3つの方向性からの取組 .....              | 33        |
| <b>第2章 施策の展開</b> .....           | <b>35</b> |
| <b>1 安全・安心で快適なまちづくり</b> .....    | <b>39</b> |
| 1-1 住みたくなるまちを整備し維持する .....       | 40        |
| 1-2 地域の生活を支える道路を整備する .....       | 46        |
| 1-3 利用しやすい公共交通ネットワークをつくる .....   | 48        |
| 1-4 快適な生活環境を構築する .....           | 50        |
| 1-5 災害から生命と暮らしを守る体制を整備する .....   | 60        |
| 1-6 事故や犯罪を防止し安全な暮らしを確保する .....   | 64        |
| <b>2 未来を支える人材を育てるまちづくり</b> ..... | <b>67</b> |
| 2-1 子育てしやすい環境をつくる .....          | 68        |

|     |                      |    |
|-----|----------------------|----|
| 2-2 | 芝山で子どもを生き育てる世帯を応援する  | 72 |
| 2-3 | 生きる力を育む学校教育を推進する     | 74 |
| 2-4 | 誰もが生涯にわたり学習できる環境を整える | 78 |
| 2-5 | 誰もがスポーツに親しめる環境を整える   | 82 |
| 2-6 | 地域の文化を守り育てる          | 84 |

### 3 芝山らしく空港を生かしたまちづくり ..... 89

|     |                      |     |
|-----|----------------------|-----|
| 3-1 | 持続可能な農林業を振興する        | 90  |
| 3-2 | 地域を活性化し雇用を育む商工業を振興する | 94  |
| 3-3 | 芝山の魅力を発見・発信する観光を振興する | 98  |
| 3-4 | 産業を支える道路を整備する        | 102 |

### 4 互いを尊重し支え合うまちづくり ..... 105

|     |                      |     |
|-----|----------------------|-----|
| 4-1 | 町民の命を守る保健衛生・医療体制をつくる | 106 |
| 4-2 | 高齢者が安心して暮らせる社会をつくる   | 112 |
| 4-3 | 地域で支え合う福祉を充実する       | 116 |
| 4-4 | 町民の暮らしを支える社会保障を充実する  | 120 |
| 4-5 | 互いを尊重し認め合う社会をつくる     | 124 |

### 5 協働し成長するまちづくり ..... 129

|     |                     |     |
|-----|---------------------|-----|
| 5-1 | 開かれた町政づくりで協働を推進する   | 130 |
| 5-2 | 効果的で効率的な行財政運営を進める   | 134 |
| 5-3 | 地域の特性を生かした広域連携を推進する | 138 |

## 第3章 計画の推進 ..... 143

|   |               |     |
|---|---------------|-----|
| 1 | 計画の進行管理       | 143 |
| 2 | 開かれた町政と協働の推進  | 144 |
| 3 | 効率的・効果的な行財政運営 | 144 |
| 4 | 広域連携の充実       | 144 |

## 【資料編】 ..... 145

### 1 策定体制 ..... 147

|   |            |     |
|---|------------|-----|
| 1 | 総合計画審議会 名簿 | 147 |
| 2 | 審議の経過      | 148 |
| 3 | 諮問書        | 149 |
| 4 | 答申書        | 150 |

### 2 前期基本計画における施策の指標一覧 ..... 151

### 3 芝山町組織図（令和3年（2021年）4月より） ..... 155



## 【序論】

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第1章 総合計画策定に当たって | 3  |
| 1 策定の趣旨         | 3  |
| 2 計画の概要         | 4  |
| 3 主な個別計画等との関連性  | 5  |
| 第2章 芝山町の概況      | 6  |
| 1 地勢            | 6  |
| 2 人口、世帯等        | 7  |
| 3 産業            | 8  |
| 4 土地利用、都市基盤等    | 9  |
| 5 町に関連する計画等     | 10 |
| 6 社会潮流の変化       | 11 |
| 第3章 町民の評価と意向    | 13 |
| 1 町民アンケート結果     | 13 |
| 第4章 まちづくりの課題と期待 | 15 |



# 第1章 総合計画策定に当たって

## 1 策定の趣旨

総合計画は、その地域全体の総合的・効率的な行財政運営を図るための基本となるものであり、まちの将来像と計画の実現に向けた施策及び施策の進め方を示すものです。

芝山町の総合計画（第4次）は、平成23年度（2011年度）を初年度とし、目標年度である令和2年度（2020年度）まで、「活力ある 緑の大地と空がふれあうまち・芝山」を将来像として、「一体となり連携を重視したまちづくり」「子育てを応援し、豊かに生活でき、高齢者が元気なまちづくり」「農業を起点とした食のまちづくり」を目指してきました。

前回の計画策定から10年、我が国の少子高齢化による急激な人口減少は一層進行しており、地域経済・地域活力の低下や地域コミュニティの衰退等、様々な問題が各地で深刻化しています。また、国際化・情報化の進展や近年頻発・激甚化している自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による価値観やニーズの多様化等、本町を取り巻く環境は予想を上回る速さで変化しており、それに対応する行政の役割は今まで以上に重要なものとなっています。

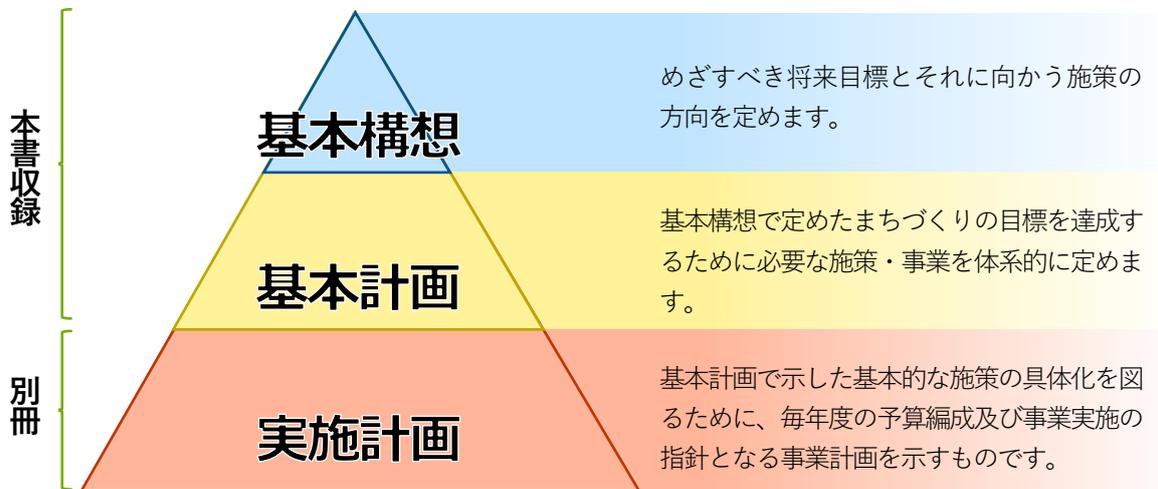
本町においても、平成7年（1995年）をピークに人口は減少傾向であり、平成27年（2015年）の国勢調査では7,431人となっております。元々の人口規模が小さい上、空港の騒音区域等により居住できる範囲も限定されており、今後、空港の第3滑走路（C滑走路）建設による人口流出も懸念される中においては、人口確保は芝山町最大の課題といえます。また、社会保障関係経費の増加や公共施設の老朽化に対する更新経費の捻出等財政運営的な課題も山積しています。一方で、圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC間）の整備や前述の第3滑走路（C滑走路）建設といった町経済を飛躍的に向上させる可能性を秘めた国策事業も控えており、それらを最大限に活用した計画的なまちづくりを進める必要があります。

こうした様々な変化（課題とチャンス）を的確に捉え、持続可能で自立した基礎自治体としてのまちづくりの指針を示すため、令和3年度（2021年度）からの計画となる「第5次芝山町総合計画」を策定するものです。

## 2 計画の概要

### ①計画の構成

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されます。



### ②計画の期間

基本構想の期間は令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間とし、基本計画は前期4年間・中期3年間・後期3年間に分けて、それまでの検証結果を踏まえ、必要に応じ改定を行います。

また、実施計画の期間は3年間とし、毎年度改定するローリング方式により策定します。

| 1  | 2             | 3             | 4             | 5                                 | 6             | 7             | 8                                 | 9              | 10             |
|--|---------------|---------------|---------------|-----------------------------------|---------------|---------------|-----------------------------------|----------------|----------------|
| R 3<br>(2021)  | R 4<br>(2022) | R 5<br>(2023) | R 6<br>(2024) | R 7<br>(2025)                     | R 8<br>(2026) | R 9<br>(2027) | R 10<br>(2028)                    | R 11<br>(2029) | R 12<br>(2030) |
| <b>基本構想（10年間）</b><br>まちの将来像、まちづくりの方向性、施策の大綱など                              |               |               |               |                                   |               |               |                                   |                |                |
| <b>前期基本計画（4年間）</b><br>具体的な施策の方策など  |               |               |               | <b>中期基本計画（3年間）</b><br>具体的な施策の方策など |               |               | <b>後期基本計画（3年間）</b><br>具体的な施策の方策など |                |                |
| <p style="text-align: center;"><b>実施計画</b><br/>3年間のローリング方式で<br/>毎年度見直し</p> |               |               |               |                                   |               |               |                                   |                |                |

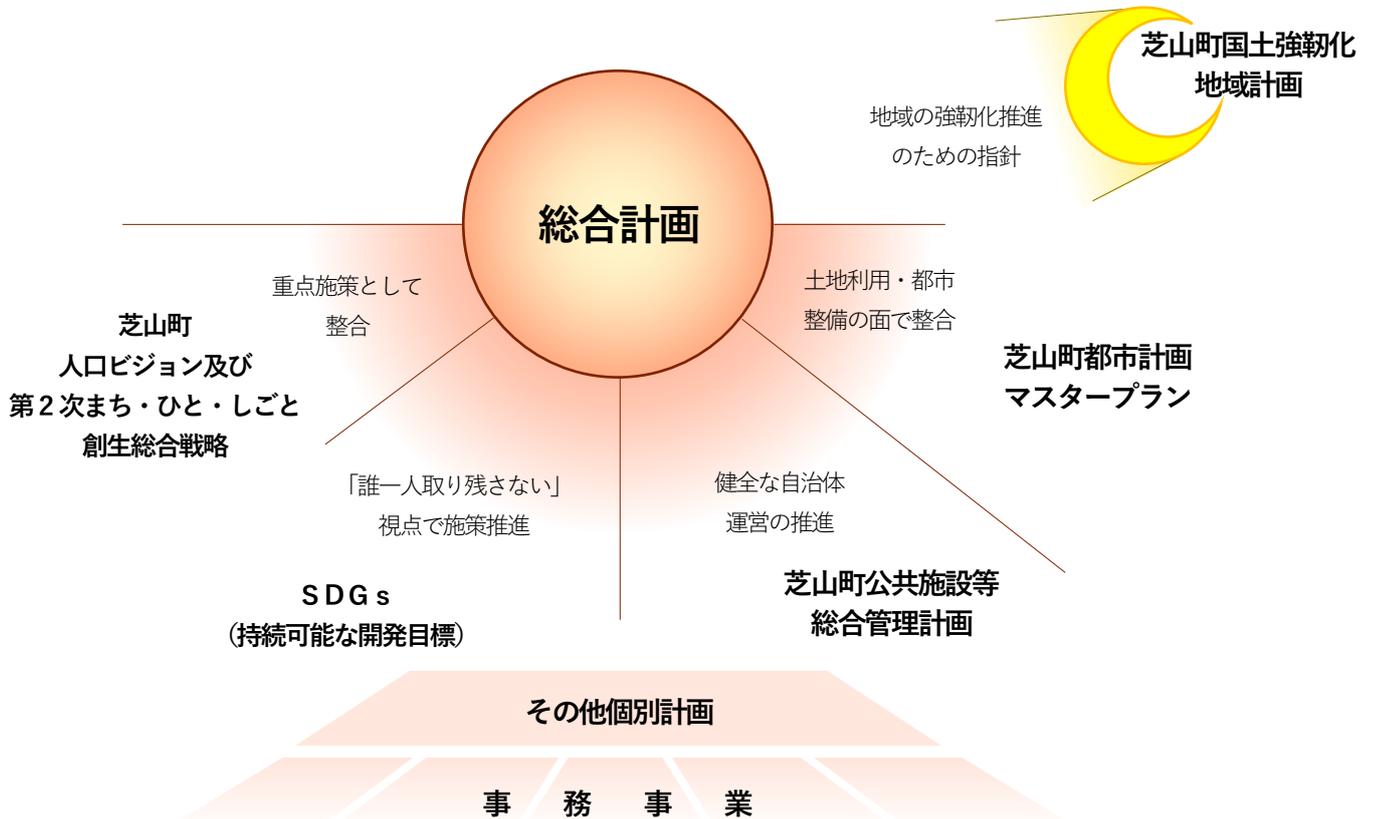
### ③国や県の施策との関係

本町の総合計画の推進については、国や県が策定する関連計画等の理念や方向性とできる限り整合を図りながら、国と地方自治体は対等な立場であることを踏まえて、相互に連携し協力関係を大切にしながら公共課題の解決を図っていくよう努めていきます。

### 3 主な個別計画等との関連性

個別計画は、各分野における取組を着実に推進していくため、それぞれの分野の実情に応じて、その具体的な取組内容を記載した計画・方針・指針などを定めたものであり、最上位計画である総合計画に記載された内容を踏まえ、対象となる分野の将来像や目標を掲げ、その実現に向けたより具体的・詳細な取組等を明らかにするものです。

総合計画と代表的な個別計画の関連については、以下のとおりです。



#### 【用語の解説】

- ・芝山町国土強靱化地域計画**  
 大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域を作り上げるための指針となる計画書であり、総合計画と並ぶ本町の最上位計画である
- ・芝山町人口ビジョン及び第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略**  
 人口ビジョンにより町の人口について現状と将来推計を分析し、まちづくりにかかるすべての分野から、人口減少への対応や地域活性化に向けた5か年の施策をまとめた計画書
- ・芝山町公共施設等総合管理計画**  
 土木インフラ、建物を含む全ての公共施設を対象に総合的かつ計画的な管理を推進するための計画書
- ・芝山町都市計画マスタープラン**  
 土地利用や都市機能施設の配置及び交通体系等の観点から総合的なまちづくりを進めていく計画書
- ・SDGs**  
 平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された令和12年(2030年)を期限とする国際社会全体の開発目標で、すべての人が幸せを実感できる持続可能な世界を実現するため17の目標項目が設定されている

## 第2章 芝山町の概況

### 1 地勢

- 本町は都心から約 60km 圏内に位置し、成田空港に隣接しています。
- 農業を基幹産業としつつも、空港に接していることから工業・物流系企業が多く進出しています。
- 交通体系は、既存交通網に加え、圏央道の全線開通等、今後ますます発展していくことが期待されています。

#### ①芝山町の位置

本町は千葉県の北東部北総台地のほぼ中央に位置し、東京都心から約 60km 圏にあります。東は多古町、東南に横芝光町、南西に山武市、北西に富里市、北は成田市に接し、成田空港に隣接しています。

町全域は下総台地の一端にあり、南北に流れる高谷川、木戸川に沿った平坦地と丘陵地から構成され、平坦地は丘陵地に入り込む形で多くの谷津地を形成しています。

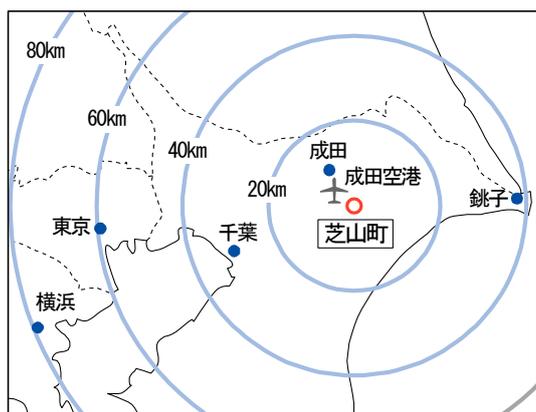
古くから農業を主幹産業として高品質な農産物が盛んに生産されている一方、近年では、空港に接していることから3つの工業団地を中心に工業・物流系企業が多く進出しています。

#### ②交通体系

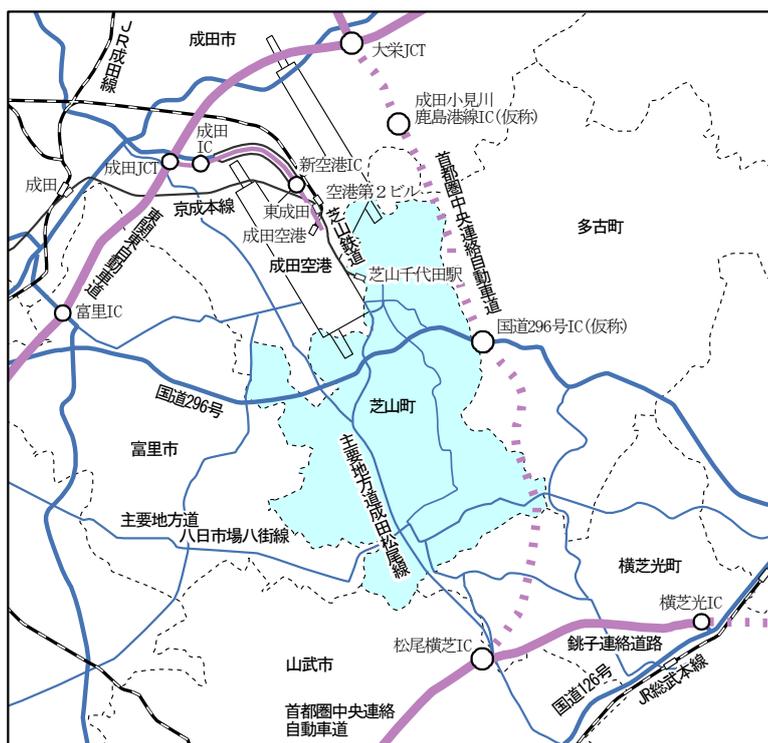
本町では、国道 296 号や主要地方道成田松尾線（芝山はにわ道）を中心として、周辺市町と繋がる骨格的道路網が形成されています。

更には、今後予定されている圏央道の全線開通や、成田空港の更なる機能強化に伴う千代田地区における第三滑走路横断道路の整備により、本町の広域交通網の飛躍的な発展が期待されています。

■芝山町の位置



■広域交通網図



## 2 人口、世帯等

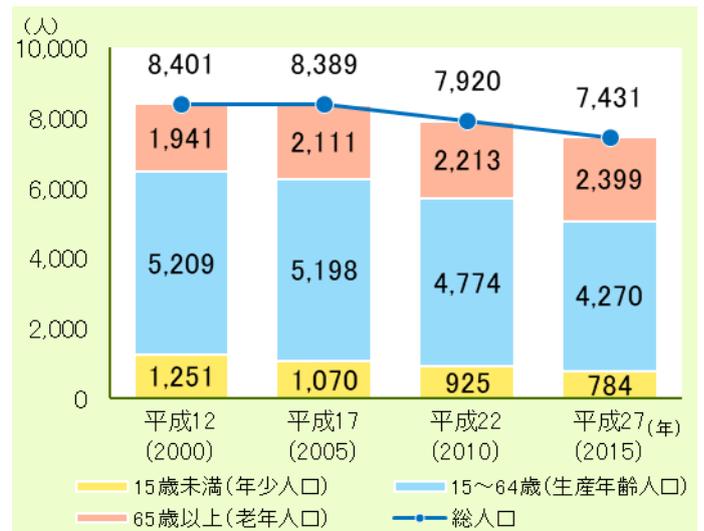
○総人口は減少傾向にあり、年少人口や生産年齢人口も減少する中、老年人口は増加しています。

○世帯数は増加する一方、一世帯当たり人員は減少しており、核家族化や単身・少人数世帯の増加が伺えます。

### ①人口

国勢調査によれば、本町の人口は減少傾向にあり、平成 27 年（2015 年）時点で 7,431 人となっています。年少人口や生産年齢人口が減少する一方、老年人口は増加しており、高齢化率は 32.7% となっています。

■年齢別人口の推移(国勢調査)

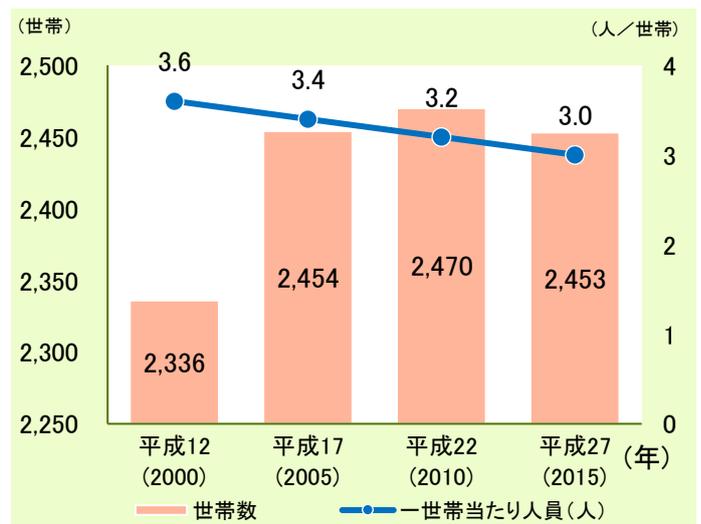


出典：国勢調査

### ②世帯数

国勢調査によれば、世帯数は平成 22 年（2010 年）までの増加傾向がやや鈍化してきており、平成 27 年（2015 年）時点で 2,453 世帯となっています。一世帯当たり人員は減少傾向にあり、平成 27 年（2015 年）時点で 3.0 人／世帯となっています。

■世帯数、一世帯当たり人員の推移(国勢調査)



出典：国勢調査

### 3 産業

○産業別就業者数では、サービス業などの第3次産業が最も多く、農林業の第1次産業は減少傾向にあります。

○工業の製造品出荷額はリーマン・ショックの影響から回復の兆しが見えるものの、商業の年間商品販売額は近年減少しています。

#### ① 産業分類別就業者数（15歳以上）

国勢調査によれば、本町の就業者数は人口の減少に伴って減少傾向にあり、内訳では第3次産業が最も多くなっています。第1次産業の就業者数は平成12年（2000年）から平成27年（2015年）までに約450人減少しています。

■産業分類別就業者数の推移(国勢調査)



出典：国勢調査

#### ② 工業の動向

工業統計によれば、製造品出荷額はリーマン・ショックなどの影響から平成23年（2011年）前後に大きく落ち込んだものの、近年はやや回復してきています。

■製造品出荷額、従業者数の推移(工業統計)



#### ③ 商業の動向

商業統計によれば、本町の年間商品販売額は平成19年（2007年）をピークに減少傾向にあります。

■小売業年間商品販売額、売場面積の推移(商業統計)



出典：商業統計

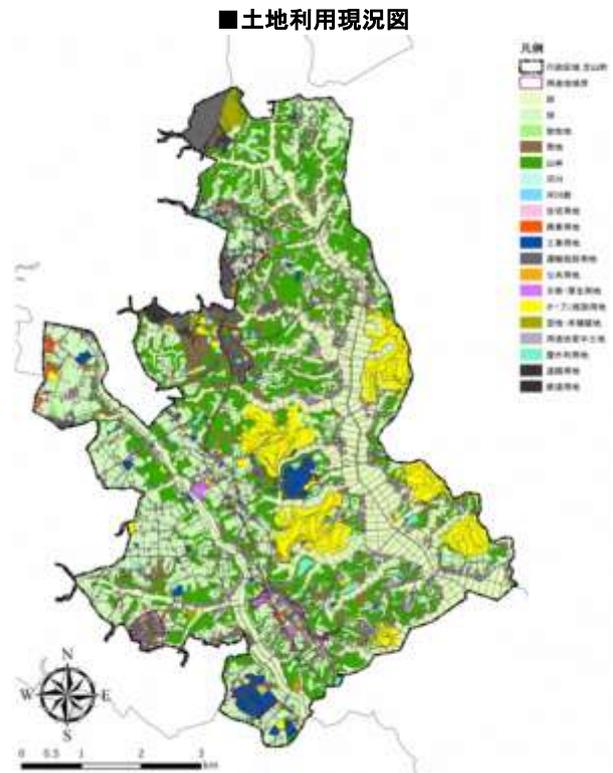
## 4 土地利用、都市基盤等

○本町は田畑などの自然的土地利用が多く、用途地域は、小池地区、千代田地区、はにわ台に住居系用途地域が国道 296 号や主要地方道成田松尾線沿道の工業団地に工業系の用途地域が指定されています。

### ①土地利用現況

土地利用の状況を見ると、田・畑や森林など、自然的利用を中心とした土地利用がなされています。

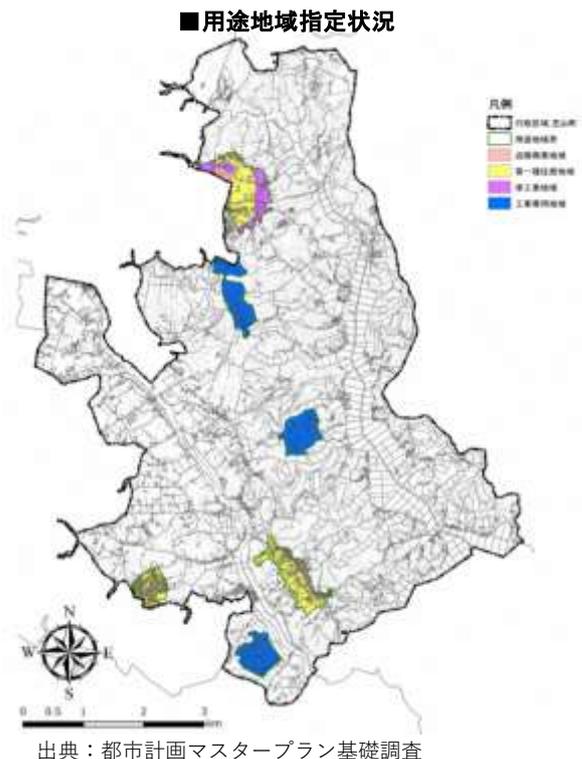
小池地区の市街地においては住宅を中心とした土地利用がなされており、千代田地区の市街地では住宅のほか、運輸施設用地や屋外広場（駅前広場）などによる土地利用が見られます。



### ②用途地域

用途地域は、小池地区、千代田地区、はにわ台に住居系用途地域が指定されています。また、国道 296 号や主要地方道成田松尾線沿道の工業団地に工業系の用途地域が指定されています。

用途地域外の大部分を農業振興地域に指定しています。また、道路沿道などにおける農用地区域の指定により、営農環境の保全を図っています。



## 5 町に関連する計画等

### ①成田空港の更なる機能強化

平成 30 年（2018 年）3 月、国土交通省、千葉県、成田空港周辺 9 市町及び NAA による協議の結果、第 3 滑走路（C 滑走路）の新設、飛行時間の延長などを含めた成田空港の更なる機能強化について、実施することを四者で合意しました。これに伴い、本町の北東部で新たな滑走路が整備されることになり、特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法（以下、騒特法と略す）に基づく区域の見直しが行われました。成田空港全体の発着回数は 30 万回/年から 50 万回/年に、第 3 滑走路（C 滑走路）の発着回数は約 17 万回/年となることが予定されています。

■成田空港が目指す空港像(発着回数 50 万回時イメージ)



出典：成田国際空港株式会社ホームページ

### ②首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備

圏央道は、都心から約 40～60 キロメートルを環状に連絡する全長約 300 キロメートルの高規格幹線道路です。このうち、大栄 JCT から松尾横芝 IC に至る延長約 18.5km の区間は平成 20 年（2008 年）に都市計画決定され、整備が進められています。

令和 6 年（2024 年）には大栄 JCT～松尾横芝 IC 間の供用開始予定（暫定型）となっており、圏央道の全線供用により、本町の広域交通網の飛躍的な発展が期待されています。

■圏央道(大栄～横芝間)



## 6 社会潮流の変化

### ①全国的な人口減少・少子高齢化社会の進行

日本の総人口は平成20年（2008年）の1億2,808万人をピークに、また、生産年齢人口（15～64歳）も平成7年（1995年）の8,716万人をピークに減少に転じています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計（出生中位（死亡中位）推計）によると、令和47年（2065年）には総人口は約8,808万人、生産年齢人口は約4,529万人にまで減少すると見込まれています。

また、平成30年（2018年）時点での年少人口の割合は12.3%であり、世界全域の年少人口割合26.1%（国連推計 平成27年（2015年）時点）に比べ非常に低い状況です。一方、高齢者の割合は年々増加しており、令和47年（2065年）には総人口の38.4%を占めると見込まれます。こうした「世代間バランスの不均衡」の結果生じた労働力の減少や地域活力の低下、医療費や介護費といった社会保障費の増加などが、現在の経済社会システムに大きな影響を及ぼしています。

### ②経済活動のグローバル化と労働生産性の向上

日本の経済は、リーマン・ショック以降、経済活性化に向けた規制緩和の拡大により経済のグローバル化が急速に進んでおり、国際的な競争が激化する一方、世界的な相互依存の関係も深まっています。特に、中国をはじめとする東アジア諸国における生産と消費が世界経済の中で重要性を増しており、日本との経済的なつながりが更に強まる傾向にあります。

一方、日本の労働力人口は、平成30年（2018年）時点では約6,580万人ですが、今後、ゼロ成長に近い経済成長で労働市場への参加が進まない場合、令和22年（2040年）には約5,650万人まで減少するなか、医療や介護分野では需要が高まると推計されています。低迷する日本経済を今後、維持・活性化させるためには、女性や高齢者、障がい者、外国人等の就業を積極的に促進するなど、労働に従事する人口を増加させるとともに、技術革新等による労働生産性の向上が必要です。

このため、多様で柔軟な働き方を可能にする「働き方改革」が進められており、時間や場所に捉われない働き方が実現すれば、都市部ではなく、地方で暮らして働くといった選択も可能になると考えられます。

■就業者数の推移と予測



出典：厚生労働省保険局「「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめ」について」（令和元年6月12日）

### ③地球温暖化や大規模災害、感染症等への対応

人間活動に伴う地球環境への負荷はますます増大するとともに、地球温暖化に伴う異常気象（集中豪雨、突風・竜巻等）による自然災害の多発等が地球規模の課題となっています。これらの環境問題に対応するため、温室効果ガスの削減に向けた脱炭素型社会の形成や資源・エネルギーの循環型社会の形成、生物多様性の保全が求められます。

自然災害の多い日本において、地震や風水害から人命を守ることや、いかなる事態が起ころしても機能不全に陥らない経済社会システムを担保するためには、平時からの備えが重要なことから、国は国土強靱化に向けた取組を推進しています。

また、近年は自然災害のみならず、世界各地で頻発するテロの発生や新型インフルエンザウイルスの発生などは、世界規模で新たな脅威となっています。とりわけ、令和2年（2020年）の年明けから感染者が急増し世界的な流行（パンデミック）となっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）では、多数の人々の生命・健康に甚大な被害を及ぼしました。こうした社会・経済活動の縮小・停滞を招くおそれがある疫病等への対策を含め、新たな危機管理体制の構築が求められます。

### ④持続可能な社会を目指した世界的な取組

平成27年（2015年）9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核を成すSDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）は、17のゴールと169のターゲットで構成されており、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指す先進国を含む国際社会共通の目標となっています。

日本においても、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年（2016年）12月）が策定され、持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない社会の実現に向けて取り組むこととされています。地方自治体においても各種計画等にSDGsの要素を最大限反映し、取組を推進することが奨励されています。

■SDGsの17のゴール



# 第3章 町民の評価と意向

## 1 町民アンケート結果

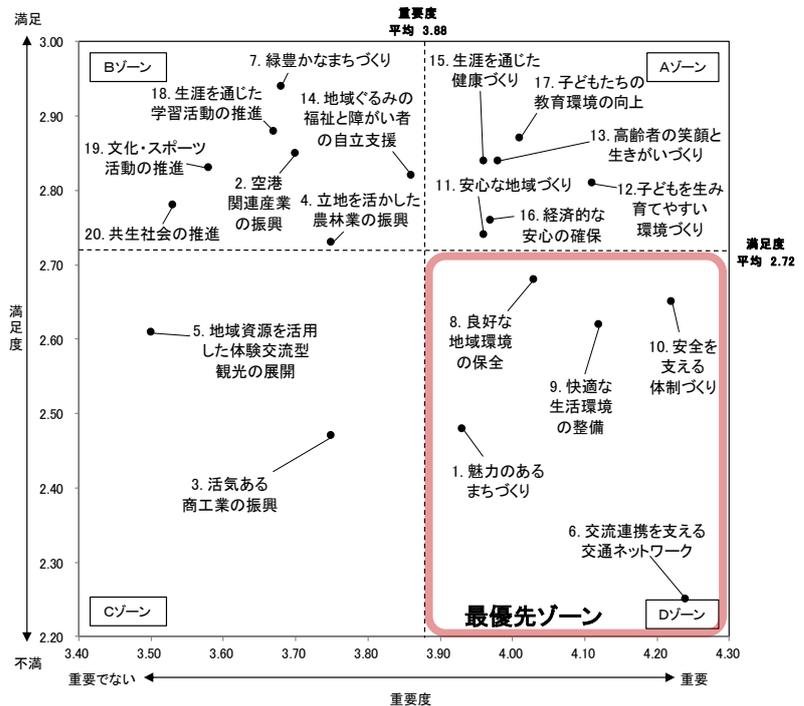
### ①調査の概要

|       |  |
|-------|--|
| 調査の目的 | 本町の住み心地や定住意向、今後のまちづくりなどについての町民の関心を把握し、将来の人口展望及び今後取り組むべきまちづくりの検討材料とする |
| 調査対象  | 芝山町内に住む16歳以上の町民2,000人  |
| 調査方法  | 無作為抽出による郵送配布、回収は郵送回収またはインターネット回収                                     |
| 調査期間  | 令和元年(2019年)10月25日(金)～11月8日(金)  |
| 回収状況  | 有効回収数 595票(うちインターネット回答 68票) 回収率 29.8%                                |

### ②町の施策の満足度・重要度

町が取り組んでいる20の施策について満足度と重要度を伺ったところ、重要であるが満足度が低く今後優先すべき施策として、「交流連携を支える交通ネットワーク」「安全を支える体制づくり」「快適な生活環境の整備」「魅力あるまちづくり」「良好な地域環境の保全」が挙がっています。

■町の施策の満足度・重要度評価ゾーニング



■満足度の評価平均得点(得点の高い順)

| 施策                     | 平均得点 |
|------------------------|------|
| 7. 緑豊かなまちづくり           | 2.94 |
| 18. 生涯を通じた学習活動の推進      | 2.88 |
| 17. 子どもたちの教育環境の向上      | 2.87 |
| 2. 空港関連産業の振興           | 2.85 |
| 13. 高齢者の笑顔と生きがいづくり     | 2.84 |
| 15. 生涯を通じた健康づくり        | 2.84 |
| 19. 文化・スポーツ活動の推進       | 2.83 |
| 14. 地域ぐるみの福祉と障がい者の自立支援 | 2.82 |
| 12. 子どもを生き育てやすい環境づくり   | 2.81 |
| 20. 共生社会の推進            | 2.78 |
| 16. 経済的な安心の確保          | 2.76 |
| 11. 安心な地域づくり           | 2.74 |
| 4. 立地を活かした農林業の振興       | 2.73 |
| 8. 良好な地域環境の保全          | 2.68 |
| 10. 安全を支える体制づくり        | 2.65 |
| 9. 快適な生活環境の整備          | 2.62 |
| 5. 地域資源を活用した体験交流型観光の展開 | 2.61 |
| 1. 魅力のあるまちづくり          | 2.48 |
| 3. 活気ある商工業の振興          | 2.47 |
| 6. 交流連携を支える交通ネットワーク    | 2.25 |

(N=595)

■重要度の評価平均得点(得点の高い順)

| 施策                     | 平均得点 |
|------------------------|------|
| 6. 交流連携を支える交通ネットワーク    | 4.24 |
| 10. 安全を支える体制づくり        | 4.22 |
| 9. 快適な生活環境の整備          | 4.12 |
| 12. 子どもを生き育てやすい環境づくり   | 4.11 |
| 8. 良好な地域環境の保全          | 4.03 |
| 17. 子どもたちの教育環境の向上      | 4.01 |
| 13. 高齢者の笑顔と生きがいづくり     | 3.98 |
| 16. 経済的な安心の確保          | 3.97 |
| 11. 安心な地域づくり           | 3.96 |
| 15. 生涯を通じた健康づくり        | 3.96 |
| 1. 魅力のあるまちづくり          | 3.93 |
| 14. 地域ぐるみの福祉と障がい者の自立支援 | 3.86 |
| 3. 活気ある商工業の振興          | 3.75 |
| 4. 立地を活かした農林業の振興       | 3.75 |
| 2. 空港関連産業の振興           | 3.70 |
| 7. 緑豊かなまちづくり           | 3.68 |
| 18. 生涯を通じた学習活動の推進      | 3.67 |
| 19. 文化・スポーツ活動の推進       | 3.58 |
| 20. 共生社会の推進            | 3.53 |
| 5. 地域資源を活用した体験交流型観光の展開 | 3.50 |

(N=595)

### ③町の将来像

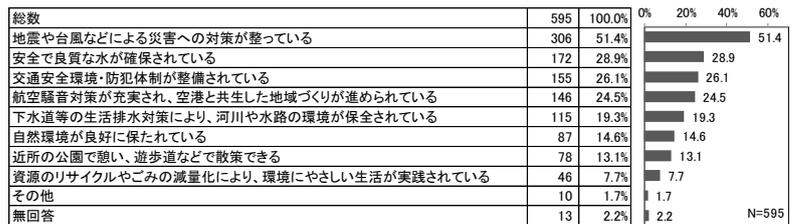
芝山町に期待する将来像として「快適で安全な環境のまち」が最も多く、次いで「健康で安心して暮らせるまち」、「空港を活用した産業振興のまち」、「魅力ある都市環境のまち」、「協働と連携によるまち」、「一人ひとりの個性と創造性を発揮したまち」、「その他」となっています。

■芝山町に期待する将来像(複数回答)



「快適で安全な環境のまち」に重要なことでは、「地震や台風などによる災害への対策が整っている」が最も多くなっています。

■「快適で安全な環境のまち」に重要なこと(複数回答)



「健康で安心して暮らせるまち」に重要なことでは、「保健・医療・福祉の連携が進んでいる」が最も多く、次いで「地域の医療体制が整備されている」、「子どもを安心して産み、育てられる環境が整っている」となっています。

■「健康で安心して暮らせるまち」に重要なこと(複数回答)



「空港を活用した産業振興のまち」に重要なことでは、「商工業やサービス業が盛んで、雇用の場が充実している」が最も多く、次いで「観光資源を有効に活用し、多くの観光客が訪れている」となっています。

■「空港を活用した産業振興のまち」に重要なこと(複数回答)



「魅力ある都市環境のまち」に重要なことでは、「買い物など日常的な活動が身近な場所で行える」が最も多く、次いで「公共交通による交通の利便性が確保されている」となっています。

■「魅力ある都市環境のまち」に重要なこと(複数回答)



## 第4章 まちづくりの課題と期待

### 【まちづくりの課題】

#### ▼課題▼ 人口の減少と少子高齢化の進行

- ・町の人口は近年減少傾向にあり、15歳未満の年少人口が減少し65歳以上の高齢者人口が増加しています。
- ・このままの傾向が続けば、令和12年（2030年）には生産年齢人口は5割を切り、高齢者が4割以上に達すると予想されます。

#### ▼課題▼ 生活の利便性や地域活力の低下

- ・農業では従事者の減少や耕作地の減少などが進行しています。
- ・山や森林の保全が行き渡らず、災害への心配が拡大しています。
- ・商業では小売業の減少や消費動向の変化などによる売り上げ減少が続いています。
- ・企業や商店などの後継者が不足し、事業の継承が難しくなることで、産業の衰退が懸念されます。

#### ▼課題▼ 公共サービスを維持するための財源確保

- ・少子高齢化が進み、地域の実情を踏まえた個性あるまちづくりへのニーズが高まる中、福祉サービスや教育などにかかる費用は今後も増加が見込まれます。
- ・生活基盤である道路や公園、上下水道、公共施設などの都市機能の更新など、町に求められる公共サービスを維持管理、運営していくための行財政は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

### 【今後の期待】

#### △期待△ 成田空港の更なる機能強化による波及効果

- ・成田空港の更なる機能強化に伴って、空港に関連する企業と就業者の増加が見込まれることから、こうした受け皿づくりによる定住人口の確保が期待されます。

#### △期待△ 圏央道の整備などによる交流人口の増加

- ・圏央道の整備にあわせて、今後設置される圏央道ICなどを生かした企業誘致や地域振興施設の整備を図ることで、新たなにぎわい創出やまちの活性化が期待されます。

